

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.7-6)

<b>件名</b>	弁の復旧忘れによる液位計指示不良											
<b>事象の概要</b> (1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要	<p>精製建屋: ウラナス製造設備</p> <p>ウラナス製造設備の起動時</p> <p>ウラナス製造設備の起動時において、弁の復旧忘れ(閉 開)により、液位に片圧が発生し、その結果、実際の液位より低く指示し、液位低のインターロックが作動しウラナス製造設備が停止</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様の事象の発生が予想される。</p>											
<b>事象による影響</b> (1) 工場外への影響 (2) 安全性への影響 (3) 作業員への影響 (4) 他工程への影響	<p><b>工場外への影響は生じない。</b> 精製建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p><b>安全上の問題は生じない。</b> 液位低のインターロックが作動しウラナス製造設備が停止することから、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p><b>作業員への影響は生じない。</b> 液位計の点検作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p><b>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> ウラナス製造設備の運転に影響が生じる。また、上流及び下流の工程の運転は、一時的な貯留槽のウラナスの残液量で運転継続の可否を判断する。</p>											
<b>対応の概要</b>	<p>(1) ウラナス製造設備の起動作業を停止し、液位計指示不良の原因が弁の復旧忘れであることを確認する。</p> <p>(2) 定められた保守手順に従って液位計の点検を行い、弁を復旧する。</p> <p>(3) 定められた操作手順に従って、ウラナス製造設備の起動を再開する。</p>											
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)											
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="width: 20%; vertical-align: top;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  放射性物質による汚染、被ばく等                  運転時閉鎖からの逸脱等                  多重防護の劣化             </td> <td style="width: 60%; text-align: center;">                 0以下   1   2   3   4   5   6   7                  (レベル2以下は工場外への影響はない)   放射性物質の外部放出   工場外への影響             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td></td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 運転時閉鎖からの逸脱等 多重防護の劣化	0以下   1   2   3   4   5   6   7 (レベル2以下は工場外への影響はない)   放射性物質の外部放出   工場外への影響	(b) 運転システムを切り替えて復旧		(c) 当該機器を停止して復旧		(d) 当該設備を停止して復旧		(e) 影響範囲の設備を停止	
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 運転時閉鎖からの逸脱等 多重防護の劣化	0以下   1   2   3   4   5   6   7 (レベル2以下は工場外への影響はない)   放射性物質の外部放出   工場外への影響										
(b) 運転システムを切り替えて復旧												
(c) 当該機器を停止して復旧												
(d) 当該設備を停止して復旧												
(e) 影響範囲の設備を停止												

### 事象概要

